

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	湘南医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 彩煌学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	東洋療法科	夜・通信	2422 時間	240 時間	
	救急救命科	夜・通信	1965 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	1370 時間	160 時間	
(備考) 東洋療法科は令和6年4月よりカリキュラムが変更されています					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 <a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	湘南医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 彩煌学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 <a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士法人 前所長	R5.4.1～ R7.3.31	財務
非常勤	社会福祉法人 理事長	R5.4.1～ R7.3.31	財務
非常勤	法律事務所 弁護士	R5.4.1～ R7.3.31	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	湘南医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 彩煌学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)は、各教育課程に基づき、前年度の2月～3月に担当教員が作成している。</p> <p>作成にあたっては定められた書式とし、記載内容は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科名、科目名、担当教員名、年次、開講期、種別、時間数、区分</li> <li>・実務経験等</li> <li>・授業概要</li> <li>・到達目標</li> <li>・使用教材</li> <li>・評価方法</li> <li>・授業内容</li> </ul> <p>授業計画書(シラバス)については、学生ポータルサイトで閲覧できるほか、ホームページにて広く一般に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則ならびに学生のでびきに定めた内容に従って評価を行っている。</p> <p>学則についてはホームページに公表、学生のでびきについては印刷したものを毎年4月に全学生に配布している。</p> <p><b>【試験方法について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間数の8割以上の出席があった者は、その学科試験を受けることができる。</li> <li>・試験の形式は筆記試験、実技試験、レポート等により行う。</li> <li>・試験は科目ごとに行い、100点を満点とし60点以上を合格とする。</li> </ul> <p>A：90～100点、B：89～74点、C：73～60点、D：0～59点で評価する。</p> <p>D評価に関しては不合格とし履修の認定をしない(再試験対象)</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>履修科目の点数を100点満点とし、履修した科目数で割った平均値を算出し、下位1/4を算出している。</p> <p>分布状況を示す資料については、学校HPで公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業認定は、学則に定める卒業要件を満たした者に対して、教務の卒業判定委員会を経て、学校長がこれを決定する。</li> <li>卒業認定については、学生のとびきに明示している。</li> <li>所定の教育課程を修了し卒業を認定された者には、「専門士」の称号を授与する</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>毎年4月に配布する学生のとびきに明示しオリエンテーションで説明をするとともに、学校HPに卒業要件を定めた学則を公表している。</p> <p><a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	湘南医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 彩煌学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
財産目録	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
事業報告書	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	東洋療法科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  2940 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼		1380 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	930 単位時間 /単位	
			2940 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		53人	0人	7人	23人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）は、各教育課程に基づき、前年度の2月～3月に担当教員に依頼し作成している。 作成にあたっては定められた書式とし、記載内容は以下のとおりとする。 ・学科名、科目名、担当教員名、年次、開講期、種別、時間数、区分 ・実務経験等 ・授業概要 ・到達目標 ・使用教材 ・評価方法 ・授業内容 授業計画書（シラバス）については、学生および保護者のポータルサイトで閲覧できるほか、ホームページにて広く一般に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学則ならびに学生のでびきに定めた内容に従って評価を行っている。 学則についてはホームページに公表、学生のでびきについては印刷したものを毎年4月に全学生に配布している。 【試験方法について】 ・授業時間数の8割以上の出席があった者は、その学科試験を受けることができる。 ・試験の形式は筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等により行う。 ・試験は科目ごとに行い、100点を満点とし60点以上を合格とする。 A：90～100点、B：89～74点、C：73～60点、D：0～59点

で評価する。 D評価に関しては不合格とし履修の認定をしない（再試験対象）
卒業・進級の認定基準
(概要) ・卒業認定は、学則に定める卒業要件を満たした者に対して、教務の卒業判定委員会を経て、学校長がこれを決定する。 卒業認定については、学生のとびきにおいて明示している。  ・所定の教育課程を修了し卒業を認定された者には、「専門士」の称号を授与する。
学修支援等
(概要) 各学年にクラス担任をおき、学生の相談・指導を行える体制をとっている。 欠席が多い学生には注意をはらうとともに本人および必要に応じて保護者に連絡を行い三者面談を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	15人 (88.2%)	2人 (11.8%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、整骨院、訪問マッサージ、等			
(就職指導内容) キャリア支援センターでの就職サポート、担任による個別指導、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師の国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	3人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の都合、等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の定期的な実施、欠席が多い学生への早期フォロー、 長期入院者などへのオンライン授業の実施、学費支払い困難者への相談窓口 の設置、等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2154 単位時間/単位	620 単位時間 /単位	1050 単位時間 /単位	484 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2154 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		80人	23人	2人	14人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）は、各教育課程に基づき、前年度の2月～3月に担当教員に依頼し作成している。</p> <p>作成にあたっては定められた書式とし、記載内容は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科名、科目名、担当教員名、年次、開講期、種別、時間数、区分</li> <li>・実務経験等</li> <li>・授業概要</li> <li>・到達目標</li> <li>・使用教材</li> <li>・評価方法</li> <li>・授業内容</li> </ul> <p>授業計画書（シラバス）については、学生および保護者のポータルサイトで閲覧できるほか、ホームページにて広く一般に公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）</p> <p>学則ならびに学生のでびきに定めた内容に従って評価を行っている。</p> <p>学則についてはホームページに公表、学生のでびきについては印刷したものを毎年4月に全学生に配布している。</p> <p>【試験方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間数の8割以上の出席があった者は、その学科試験を受けることができる。</li> <li>・試験の形式は筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等により行う。</li> <li>・試験は科目ごとに行い、100点を満点とし60点以上を合格とする。</li> </ul> <p>A：90～100点、B：89～74点、C：73～60点、D：0～59点で評価する。</p> <p>D評価に関しては不合格とし履修の認定をしない（再試験対象）</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業認定は、学則に定める卒業要件を満たした者に対して、教務の卒業判定委員会を経て、学校長がこれを決定する。</li> <li>卒業認定については、学生のでびきにおいて明示している。</li> </ul> <p>・所定の教育課程を修了し卒業を認定された者には、「専門士」の称号を授与する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>各学年にクラス担任をおき、学生の相談・指導を行える体制をとっている。</p> <p>欠席が多い学生には注意をはらうとともに本人および必要に応じて保護者に連絡を行い三者面談を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (%)	38人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障がい者施設、病院 等			
(就職指導内容) キャリア支援センターでの就職サポート、担任による個別指導、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士の国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	4人	4.9%
(中途退学の主な理由) 体調不良、家庭の都合、等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の定期的な実施、欠席が多い学生への早期フォロー、学費支払い困難者への相談窓口の設置、等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2460 単位時間/単位	1230 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	1170 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		87人	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 授業計画書（シラバス）は、各教育課程に基づき、前年度の2月～3月に担当教員に依頼し作成している。 作成にあたっては定められた書式とし、記載内容は以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科名、科目名、担当教員名、年次、開講期、種別、時間数、区分</li> <li>・実務経験等</li> <li>・授業概要</li> <li>・到達目標</li> <li>・使用教材</li> </ul>	



<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価方法</li> <li>・授業内容</li> </ul> <p>授業計画書（シラバス）については、学生および保護者のポータルサイトで閲覧できるほか、ホームページにて広く一般に公表している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学則ならびに学生のでびきに定めた内容に従って評価を行っている。 学則についてはホームページに公表、学生のでびきについては印刷したものを毎年4月に全学生に配布している。</p> <p>【試験方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間数の8割以上の出席があった者は、その学科試験を受けることができる。</li> <li>・試験の形式は筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等により行う。</li> <li>・試験は科目ごとに行い、100点を満点とし60点以上を合格とする。 A：90～100点、B：89～74点、C：73～60点、D：0～59点で評価する。 D評価に関しては不合格とし履修の認定をしない（再試験対象）</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業認定は、学則に定める卒業要件を満たした者に対して、教務の卒業判定委員会を経て、学校長がこれを決定する。 卒業認定については、学生のでびきにおいて明示している。</li> <li>・所定の教育課程を修了し卒業を認定された者には、「専門士」の称号を授与する。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 各学年にクラス担任をおき、学生の相談・指導を行える体制をとっている。 欠席が多い学生には注意をはらうとともに本人および必要に応じて保護者に連絡を行い三者面談を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (%)	15人 (78.9%)	4人 (21.1%)
<p>（主な就職、業界等） 消防局、消防本部、病院、自衛官、等</p>			
<p>（就職指導内容） キャリア支援センターでの就職サポート、担任による個別指導、等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士の国家資格取得</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	13人	14.6%

(中途退学の主な理由) 学力不足、体調不良、進路変更、等
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の定期的な実施、欠席が多い学生への早期フォロー、補習の実施 学費支払い困難者への相談窓口の設置、等

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
東洋療法科	400,000 円	1,200,000 円	330,000 円	その他：施設費、教育充実費
介護福祉科	250,000 円	590,000 円	240,000 円	その他：施設費、教育充実費
救急救命科	160,000 円	780,000 円	580,000 円	その他：施設費、教育充実費
修学支援 (任意記載事項)				
学費減免制度、学費分納制度、学費延納制度				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・主な評価項目は、学校自己評価に基づく内容とする (教育理念、目標、人材育成像・学校運営・教育活動・学習成果・学生支援・教育環境・学生の募集と受け入れ・財務・法令等の遵守・社会貢献、地域貢献) ・評価委員会は各学科に関連する分野より3名 (各学科1名)、卒業生1名、近隣地域の方1名の合計5名とする。 ・学校関係者評価委員会は、通常毎年3月もしくは5月に開催する。 ・委員からの意見、指摘事項については、理事長指示のもと全職員で共有のうえ、改善を目指す。 ・学校関係者評価を公表することにより、対外的な説明責任を果たす。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会	令和4年8月1日～ 令和6年7月31日	業界団体役職者
横須賀市消防局 中央消防署	令和4年8月1日～ 令和6年7月31日	元署長
社会福祉法人 湘南遊愛会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等役職者
東戸塚地区連合会 会長	令和4年8月1日～ 令和6年7月31日	地域等
卒業生	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.smw.ac.jp/disclosure/">https://www.smw.ac.jp/disclosure/</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.smw.ac.jp/disclosure/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H114310000483
学校名 (〇〇大学等)	湘南医療福祉専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園等)	学校法人 彩煌学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		14人	12人	15人
内訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	-	-	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				15人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

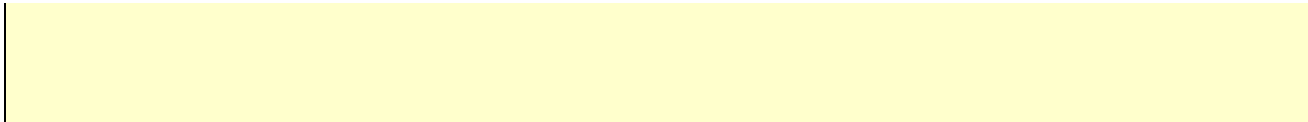
※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	



※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-
訓告	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。